

将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき
実質的な負債の
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、
従来 of 決算になかった退職給与引当金等を負債とみなし算出



■算定方法

将来負担比率	=	将来負担額 (地方債残高・退職給与引当金等)	—	・充当可能基金額 ・充当特定財源見込額 ・基準財政需要額算入見込額
		標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)	—	基準財政需要額算入額

■熊本市の将来負担比率

$$\frac{601,190 \text{ 百万円} - 401,929 \text{ 百万円}}{191,297 \text{ 百万円} - 20,545 \text{ 百万円}} = 116.6\%$$

*参考:平成29年度決算

$$\frac{593,811 \text{ 百万円} - 377,980 \text{ 百万円}}{189,205 \text{ 百万円} - 20,426 \text{ 百万円}} = 127.8\%$$

早期健全化ライン（400%）を下回っている